

2017年度 環境活動レポート

対象期間：2017年8月～2018年7月



株式会社 播磨設計コンサルタント

発行日：2018年10月31日

改訂日：2019年 5月13日

環 境 方 針

《 基 本 理 念 》

株式会社 播磨設計コンサルタントは、総合建設コンサルタントとして、次世代へ持続可能な経済社会へと変革するため、地球環境問題について全従業員で一丸となり、環境への負荷を低減させる活動に、積極的に取り組みます。

《 行 動 指 針 》

具体的に次の指針に基づき、環境への負荷を低減させる活動に取り組みます。

1. 関係する環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 事業所等の電力使用量の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
3. 自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
4. 紙資源使用量を軽減し、分別ボックス等を設置し、再使用や再資源化による廃棄物排出量の削減に取り組みます。
5. 事業所等の水使用量を抑制し、総排水量の削減に取り組みます。
6. 事務用品等のグリーン購入の推進に取り組みます。
7. 当社が実施する測量設計における環境配慮を行います。
8. 本指針について、環境目標及び環境活動計画を作成し、定期的に見直しを行ない、継続的な改善に努めます。
9. 本指針を全従業員に周知させ、社外に公開します。

制定日：2011年08月10日

改訂日：2015年03月21日



株式会社 播磨設計コンサルタント

代表取締役 藤 本 睦 之

取組の対象組織・活動

■組織の概要

(1)事業所名及び代表者名

株式会社 播磨設計コンサルタント
代表取締役 藤本 睦之

(2)所在地

本社 〒675-0017 兵庫県加古川市野口町良野1580番地
神戸支店 〒651-2117 兵庫県神戸市西区北別府二丁目11番12号
姫路支店 〒670-0955 兵庫県姫路市安田四丁目53番地の21
但馬支店 〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布1208番地の5
福知山営業所 〒620-0856 京都府福知山市土師宮町二丁目47番地
滋賀営業所 〒520-0812 滋賀県大津市木下町5番3号
奈良営業所 〒631-0003 奈良県奈良市中登美ヶ丘四丁目1番地4-302

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 高見 英之 常務取締役
環境管理担当者 西村 篤 諮 営業課 主任
連絡先 電話 079-423-5155
FAX 079-423-5188
mail info@haricon.co.jp

(4)事業の概要

測量業・建設コンサルタント・補償コンサルタント

測量業者登録	第(10)-8513号
建設コンサルタント	建27第5449号
補償コンサルタント	補30第1457号

(5)事業規模

年間売上高 267百万円(2017年度)

	本社	神戸支店	姫路支店	但馬支店	福知山営業所	滋賀営業所	奈良営業所	合計面積
延べ床面積	347.09㎡	16.5㎡	27.43㎡	34.50㎡	38.00㎡	16.50㎡	20.00㎡	500.02㎡
人員	31名	-	-	-	-	-	-	31名
合計 31名								

(6)事業年度

08月01日～翌年07月31日

■認証・登録の対象範囲

登録組織名: 株式会社 播磨設計コンサルタント
対象事業所: 本社・神戸支店・姫路支店・但馬支店・福知山営業所・滋賀営業所・奈良営業所
対象外: なし
活動: 測量業・建設コンサルタント・補償コンサルタント

■主な環境負荷の実績

項目	単位	2013・2014 基準年度	2014年度 (2014年8月～ 2015年7月)	2015年度 (2015年8月～ 2016年7月)	2016年度 (2016年8月～ 2017年7月)	2017年度 (2017年8月～ 2018年7月)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	45,945	37,129	41,384	41,004	44,056
電力	kWh	28,349	23,981	20,139	21,055	21,779
ガソリン	L	13,306	12,212	12,909	12,846	13,995
廃棄物排出量	トン	5.59	5.27	5.29	5.25	5.19
一般廃棄物	トン	5.59	5.27	5.29	5.25	5.19
総排水量	m ³	163	159	144	112	112.7

※総排水量について測定方法を変更
により基準年度を変更(2015年1月～12月実績)
※2015年度より二酸化炭素排出量基準値を
2013・2014年度の平均値に変更

■環境目標及びその実績

(1)中長期目標

年度		2013・2014 基準値	2018年度	2019年度	2020年度
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	45,945	45,945	45,945	45,945
	対基準		現状維持	現状維持	現状維持
電力使用量削減	kWh	28,349	28,349	28,349	28,349
	kg-CO ₂ 対基準	15,053	15,053	15,053	15,053
ガソリン 使用量削減	L	13,306	13,306	13,306	13,306
	kg-CO ₂ 対基準	30,892	30,892	30,892	30,892
II. 廃棄物排出量	トン	5.59	5.14	5.09	5.03
	対基準	2010年度			
一般廃棄物 削減	トン	5.59	5.14	5.09	5.03
	対基準	2010年度	△8%	△9%	△10%
III. 水使用量 削減	m ³	163.0	161.4	161.4	161.4
	対基準	2015年1月 ～12月実績	△1%	△1%	△1%
IV. グリーン購入	件	10	12	12	12
	対基準	2014年度			
V. 製品への環境 配慮	件	2	4	4	4
	対基準	2014年度			

- 注1) 二酸化炭素排出量に都市ガスは微量のため含めず
注2) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、2015年度関西電力公表の
0.531kg-CO₂/kWhを使用。
注3) 二酸化炭素排出量基準値を2013・2014年度の平均値に変更

(2)2017年度の実績

項目	年度	2013・2014	2017年度 (2017年8月～2018年7月)			
		基準	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	45,945	45,945	44,056	104%	○
	対基準		現状維持			
電力使用量削減	kWh	28,349	28,349	21,779	130%	○
	kg-CO ₂ 対基準	15,053	15,053	11,564		
ガソリン 使用量削減	L	13,306	13,306	13,995	95%	△
	kg-CO ₂ 対基準	30,892	30,892	32,491		
II. 廃棄物排出量	トン	5.59	5.20	5.19	100%	○
	対基準	2010年度				
一般廃棄物 削減	トン	5.59	5.20	5.19	100%	○
	対基準	2010年度	△7%			
III. 水使用量削減	m ³	163	161	112.7	143%	○
	対基準	2015年1月 ～12月実績	△1%			
IV. グリーン購入	件	10	12	12	100%	○
	対基準	2014年度				
V. 製品への環境 配慮	件	2	4	4	100%	○
	対基準	2014年度				

- 注1) 評価欄にて、○:達成、△:やや未達成、×:未達成
注2) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、2015年度関西電力公表の
0.531kg-CO₂/kWhを使用。
注3) 水道使用量について測定方法の変更により基準年度を変更(2015年1月～12月実績)
注4) 二酸化炭素排出量基準値を2013・2014年度の平均値に変更

■環境活動計画の内容と達成状況、次年度の取組内容

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

No.	環境目標	達成状況 (2017年8月～2018年7月)	環境活動計画の内容	評価	結果と今後の方向
I	二酸化炭素排出量削減	目標: 45,945 kg-CO ₂	下記参照		下記参照
		実績: 44,056 kg-CO ₂ 達成度: 104%			
	電力使用量の削減	目標: 15,053kg-CO ₂ 実績: 11,564 kg-CO ₂ 達成度: 130%	・昼食時及び使用していない電気の消灯	◎	昼食時等、自主的に消灯が出来ている。今後も継続的に行う。
			・エアコンの設定温度を守る (冷房28°C・暖房20°Cを目安)	◎	ポスター等により意識の向上を促した。
			・照明の未使用箇所の消灯	◎	照明をLED化。未使用箇所の消灯も心がけている。今後も継続的に行う。
	ガソリンの使用量の削減	目標: 30,892 kg-CO ₂ 実績: 32,491 kg-CO ₂ 達成度: 95%	・クールビズ、ウォームビズを行い冷暖房を抑える	◎	概ね出来ている。
・急加速を抑制する			○	普段より朝礼等で意識を向上させる。	
・アイドリングストップを心掛ける			○	エコドライブを意識し実行する。	
II	一般廃棄物削減	目標: 5.20トン 実績: 5.19トン 達成度: 100%	・可燃ごみの分別の徹底	○	特に紙ゴミ(ミスコピー裏面の再利用)
			・廃棄する前に再利用できるかの確認の徹底	○	リサイクル等の意識をもたせ、徹底していく。
			・納入業者に材料等の余分な包装を控えてもらう	○	送る前に確認等で削減出来た。
			・紙使用量・排出量の削減	×	可能なものは両面コピーをし、使用量を抑えが受注量が増えた為、増加した
	(詳細取組み)	目標: 434 kg 実績: 512 kg 達成度: 85%	・両面印刷・両面コピーの浸透	○	裏面使用の再利用が出来なく排出が増えた
			・2UP・4UP印刷の浸透	×	文字が小さくなり見にくくなるので、徹底出来なかった。
コピー用紙使用量の削減		・会議用資料等の簡素化	○	大体出来た。以後継続	
		・社内LAN等に利用による文章の電子化	○	大体出来た。以後継続	
III	水道使用量の削減	目標: 161 m ³ 実績: 112.7 m ³ 達成度: 143%	・水使用量の削減	○	節水シールを貼り意識を促した。
			・手洗い時等日常節水意識の浸透	○	上記と同じ。
			・社用車の洗車を必要最小限に留める	○	細やかな管理者の清掃意識
			・現場用器具等の水洗い時の節水	○	上記と同じ。
			・水道管の漏水を定期点検	○	メータ等を確認する。
IV	グリーン購入	目標: 12件 実績: 12件 達成度: 100%	・環境ラベル認定製品の購入、推進	○	グリーン購入法適合商品を選別
			・事務用品の購入比率調査	○	事務用品の購入
			・ネット注文時の認定製品との比較	◎	価格等を考慮し選択する
V	測量設計における環境配慮	目標: 4件 実績: 4件 達成度: 100%	・再生素材等の積極的使用により設計提案を行う。	◎	設計提案時に、再生素材を使用

■環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規及び遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例を遵守しており、違反はありません。また、過去7年間関係当局より違反等の指摘、訴訟及び地域からの環境に関する苦情や要請もありません。

No.	適用される法律名・条例名	遵守すべき要求事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	委託基準:委託先の許可確認 市の許可を受けた業者に委託	遵守
2	消防法	消火設備、警報設備等の 設置及び維持義務	遵守
3	家電リサイクル法	廃家電の適正処理 (小売業者への引渡し義務)	実績なし
4	自動車リサイクル法	廃棄自動車の適正処理 (リース会社による適正処理)	実績なし
5	フロン排出抑制法	業務用空調機の適正処理	実績なし
		業務用空調機の定期点検と記録の保存	遵守
6	資源有効利用促進法 (リサイクル法)	廃パソコンの適正処理	遵守
7	自動車NO _x ・PM法	排出基準の確保	遵守

■代表者による全体の評価と見直し

見直し:実施日 2018年10月28日 実施者 藤本 睦之

エコアクション21環境経営システムを運用して7年が経過し、環境活動等エコ活動への参加により、環境への負荷低減へ意識が完全に定着出来たと感じています。その中でも二酸化炭素排出量の削減については社員各々の意識の定着による大幅な削減結果が出ています。この結果に油断することなく更なる意識の向上を持ち、今後も持続可能な経済社会の実現に貢献していく所存であります。

■環境活動の紹介



(節水)



(消火訓練)



(節電)



(省エネエアコンに切替)